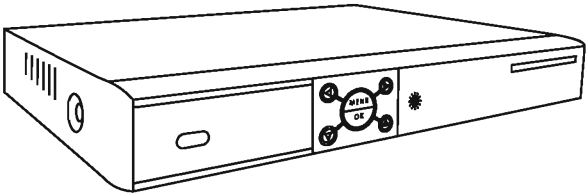
地上デジタルテレビ放送専用チューナー

製品型番：DS-DT401



取扱説明書

ご使用前に、次のことをご確認ください

1 地上デジタル放送の受信状況について

現在、全国の主要な地域では地上波デジタル放送が開始されていますが、地域状況により放送エリア内であっても以下のようなときは、放送を受信できない場合があります。 →P06

～受信障害の主な原因～

①お住まいの地域の周辺に高層ビル等があり放送局からの電波を遮断している
②住宅密集地域や集合住宅、もしくは地下室等で電波状況が芳しくない
③高圧送電線による電波障害の影響がでている
④中継局の設置などのインフラ整備が整っていない

2 UHFに対応したアンテナ設備が必要です

地上波デジタル放送の受信には、UHF に対応したアンテナが必要です。また、CATV をご利用の場合は「パススルー方式」で配信されている場合に限り受信が可能です。 →P06

3 テレビを観る前に、必ずチャンネルスキャンを行ってください

本製品をはじめてお使いになる場合、チャンネルスキャン(受信チャンネルの読み込み)が必要です。チャンネルスキャンを行うことで、はじめてテレビ放送を受信することができます。 →P20

目次

地上デジタルテレビ放送専用チューナー
製品型番：DS-DT401
取扱説明書

■ **はじめに** …… **P02**

セット内容の確認
使用上の注意
予めご了承いただきたいこと
デジタル放送特有の機能
デジタル放送への移行スケジュール
デジタル放送を受信するには
B-CAS カード

※本製品ご使用前に、必ずご確認ください。

1 チューナー本体 …… **P08**
リモコンの各部機能

2 アンテナ・テレビ・電源の接続 …… **P12**
B-CAS カード

3 テレビを見る・各種設定 …… **P18**

※本製品をはじめてお使い頂くときは、必ずチャンネルスキャンを行なってください。
チャンネルスキャンを行なわないと、テレビ放送の受信はできません。

4 故障かな？ と思ったら …… **P36**

■ **製品仕様／お問い合わせ先** …… **P40**

はじめに

本製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。ご使用にあたり取扱説明書と保証書をよくお読みいただき、正しくお使いください。また、必要なときにお読みいただけるよう、大切に保管してください。

■セット内容

パッケージの中に以下のものが入っているかよく確認してください。不足品がありましたら、弊社までお問い合わせください。また改良のため、予告無くパッケージ内容が変更されることもあります。予めご了承ください。

●チューナー本体　●リモコン　● AV ケーブル
● B-CAS カード（ユーザー登録書）　●取扱説明書／保証書

■使用上の注意

●本製品をクリーニングする場合、シンナー、ベンジン、アルコール等の有機溶剤は使用しないでください。
●本製品を長期間使用しない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。
●夏の暑い車中や直射日光のあたる場所、火気の近く等、極端に温度の高い場所での使用や放置はおやめください。本体の変形や、故障の原因となります。
●静電気の多い場所や、ほこりの多い場所で使用しないでください。故障の原因となります。
●風呂場等、水のかかる場所や湿度の高い場所での使用はおやめください。また、濡れた手で本製品を操作しないでください。ショートによる故障および感電の原因となります。
●本製品の分解、改造は絶対に行わないでください。火災、感電、故障の原因となります。ご自身による分解が原因で故障した場合、修理をお断りいたします。
●本製品を落としたり、踏んだりしないでください。また、本体に加重を与えたり、上に重たいものを載せたり、衝撃を与えたりしないでください。
●本製品から異臭がする、煙が出る、異常な音がする等の症状が見られたら、電源プラグをコンセントから抜いて、速やかに弊社サポートセンターまでご連絡ください。
●小さなお子様が本製品を使用する場合には、電気製品の取り扱いを理解した大人の監視、指導のもとで行うようにしてください。

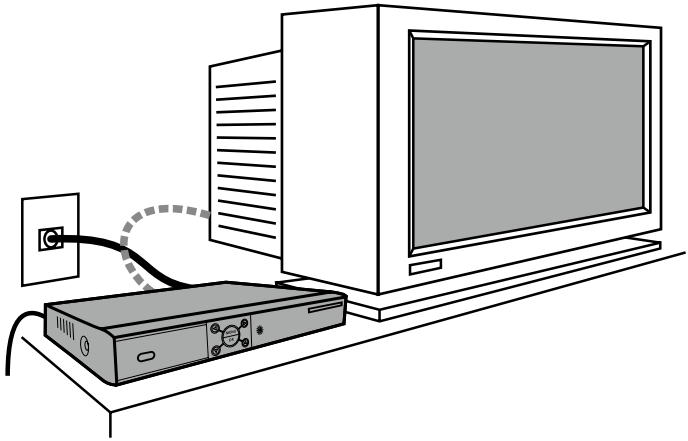
●コネクタに専用ケーブル以外の異物を挿入しないでください。ショート、感電、発火のおそれがあります。
●本製品の仕様に関しまして、本書の説明と明らかに異なる操作や目的に使用した場合、故障や損傷または身体に及ぶ障害の原因となりますので絶対におやめください。この場合、弊社は一切の責任を負いかねます。
●本製品は、日本国内の地上デジタル放送を受信するためのものです。海外ではご使用になれません。また国内であっても、地上デジタル放送を開始していない地域では番組を受信できません。
●本製品には、画面比率を切替える機能があります。公衆の場においてオリジナルの画面比率とは異なる状態で視聴させた場合、著作者の権利を侵害する場合があります。

■予めご了承いただきたいこと

1. 本書の内容、本製品の仕様・外観等については、将来予告なしに変更する事があります。
2. 本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不明な点や誤りなど、お気付きの点がございましたら、当社のカスタマーサポートセンターまでご連絡ください。
3. 本書の一部または全部を無断で複写することは禁止されています。また、個人としてご利用になるほかは、著作権法上、当社に無断でのご使用はできません。
4. 万一、本機使用により生じた損害、取扱説明書記載以外の使用方法による故障、損害、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても、当社では一切その責任を負えません。
5. 接続機器との組み合わせによる誤作動等から生じた故障や損傷に関しましては当社では一切の責任を負えません。
6. 地震や雷等の自然災害、火災、第三者からの行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤使用、その他の明らかに異常な条件下での使用によって生じた故障や損傷等の損害に関しましては当社では一切の責任を負えません。
7. 故障、修理、その他の理由に起因する損害および、逸失利益につきまして、当社では一切の責任を負えません。
8. 保証書への購入日・購入店の記載のないもの、保証書に記載された内容に相違のある場合等、 当社では一切の責任を負えません。
9. 本製品は、一般家庭内での使用を目的として製造されております。業務用（店頭ディスプレイ・営業宣伝活動での使用等）として使用した場合、保証の対象外となります。また、日本国外での使用に関する保証、およびサポート対応はできません。

本製品に搭載の、デジタル放送特有の機能について

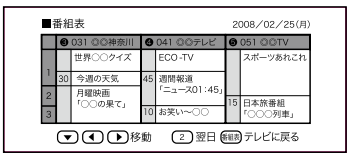
本製品は、アナログ放送専用テレビで地上デジタル放送を見ることができるチューナーです。
アンテナとテレビの間に本製品を中継することで、手軽にデジタル放送をご覧頂けます。



本製品では、デジタル放送の以下の機能がご利用頂けます。

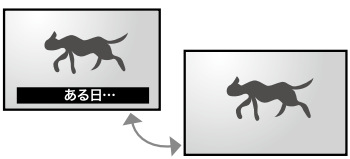
● EPG（電子番組表）

…デジタル放送の電波を通じて、画面上に番組表を表示することができます。現在視聴中のチャンネルの番組表と、他のチャンネルで放送されている番組表（裏番組表）の表示が可能です。



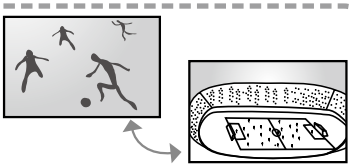
●字幕放送

…字幕表示に対応した番組で、画面上に字幕を表示することができです。
多言語に対応している番組の場合は、表示言語を切り替えることも可能です。



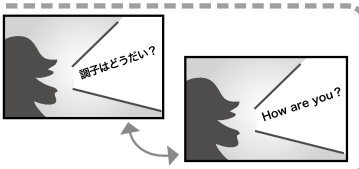
●マルチ映像

…番組に複数の映像が収録されている場合は、映像アングルを切り替えることができます。



●マルチ音声

…番組に複数の音声が収録されている場合は、音声出力の仕様や、出力言語を切り替えることができます。



●お知らせ機能

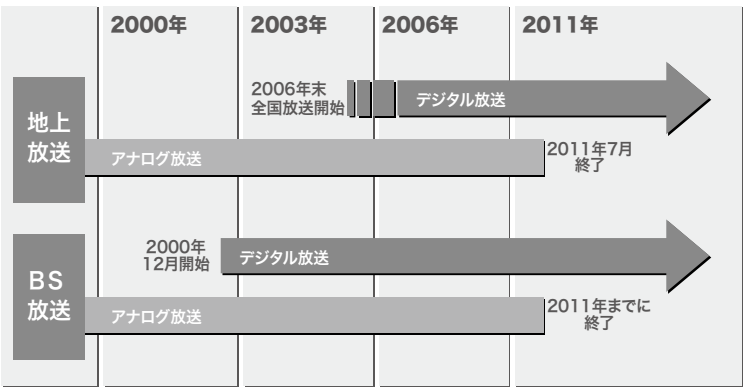
…デジタル放送の電波を通じて、本製品のソフトウェアアップデートなどがご確認頂けます。

※本製品では、データ放送の受信はできません。

デジタル放送への移行スケジュール

地上デジタル放送では、デジタルハイビジョンの高画質・高音質での番組観賞や、データ放送、字幕表示など様々なサービスのご利用が可能です。地上デジタル放送は、関東、中京、近畿の三大都市圏の一部で 2003 年 12 月から開始され、2006 年 12 月には全国都道府県庁所在地で放送が開始されました。該当地域における受信可能エリアは当初限定されていますが、順次拡大しています。

地上アナログ放送は 2011 年 7 月に、BS アナログ放送は 2011 年までに終了することが、国の方針として決定されています。



デジタル放送を受信するには

デジタル放送をご覧頂くには、以下の条件がそろっていることが前提となります。

①お住まいの地域で、デジタル放送が開始されていること

受信可能地域は、インターネット上の下記ホームページにてご確認頂けます。

●社団法人デジタル放送推進協会〜放送エリアの目安

URL：http://vip.mapion.co.jp/custom/D-PA/

●総務省〜地上デジタル放送中継局ロードマップ

URL：http://www.soumu.go.jp/joho_tsusin/dtv/zenkoku/roadmap1.html

※地上デジタル放送の受信状況について

現在、全国の主要な地域では地上波デジタル放送が開始されていますが、地域状況により放送エリア内であっても以下のようなときは、放送を受信できない場合があります。

〜受信障害の主な原因〜

①お住まいの地域の周辺に高層ビル等があり放送局からの電波を遮断している

②住宅密集地域や集合住宅、もしくは地下室等で電波状況が芳しくない

③高圧送電線による電波障害の影響がでている

④中継局の設置などのインフラ整備が整っていない

② UHF に対応したアンテナを使用していること

目安として、お使いのテレビで 13ch 〜 62ch のチャンネル番号で番組が受信できていれば UHF に対応しています。UHF 対応についてご不明な点があれば、お買い上げ店舗、もしくは最寄りの電気店などにご相談ください。

※デジタル放送用のアンテナについて

…デジタル放送は、これまで使用していた UHF アンテナで受信が可能です。ただし、デジタル放送とアナログ放送とではアンテナ受信方向が異なるため、アンテナの角度調整や増幅器、またはデジタル放送用に別途アンテナが必要な場合があります。

※集合住宅にお住まいの場合

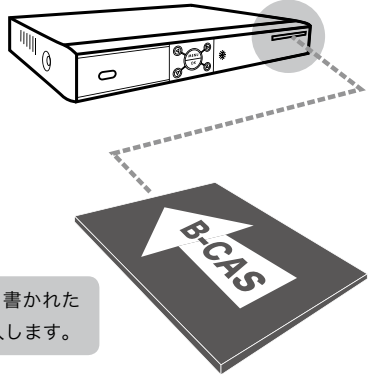
…マンションやアパートなどの集合住宅では、1 つの共同アンテナで受信した後、各戸へ分配する方式でテレビ放送を受信しています。お住まいの建物に UHF アンテナが設置されていれば、デジタル放送の受信が可能です。対応については、建物の管理者にお問い合わせください。

※ケーブルテレビをご利用の場合

…ケーブルテレビをご利用の場合、配信方式がパススルー方式であれば、本製品での受信が可能です。配信方式については、ご契約のケーブルテレビ会社にお問い合わせください。

B-CAS カード

地上デジタル放送をご覧頂くには、B-CAS カードがチューナー本体に挿入されている必要があります。



※ B-CAS カードと書かれた面を上にして挿入します。

B-CAS カードは、番組著作権保護や視聴管理などの目的で用いられています。対応するデジタル放送受信機によってカードの種類が異なるので、必ず本製品に付属のものを使用してください。

また、視聴中やスタンバイ状態のときカードの抜き差しを行なうと、カードや通信中データの破損等の事故につながります。着脱は、必ず本製品の電源プラグをコンセントから外した状態で行なってください。

※ B-CAS カードのユーザー登録に関して

…ユーザー登録は必須ではありません。ただし登録していない場合は、バージョンアップ情報等の案内が来なかったり、カード紛失時の再発行手続きがスムーズに行なわれない等、不便なことがあります。製品に付属のユーザー登録はがき、もしくはインターネット上の下記ホームページからユーザー登録をすることをお勧めします。

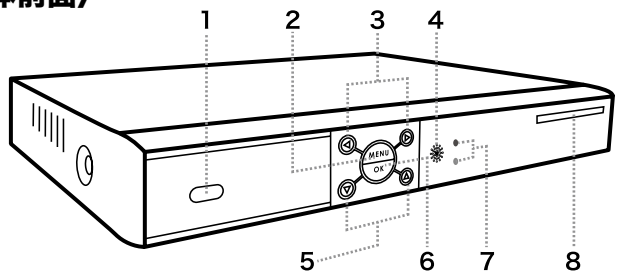
●ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ

URL：http://www.b-cas.co.jp/index.html

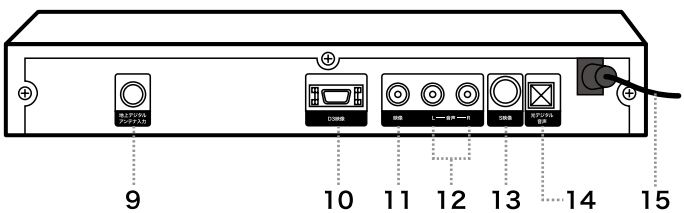
1 チューナー本体 リモコンの各部機能

チューナー本体／各部名称と機能

〈本体前面〉



〈本体背面〉

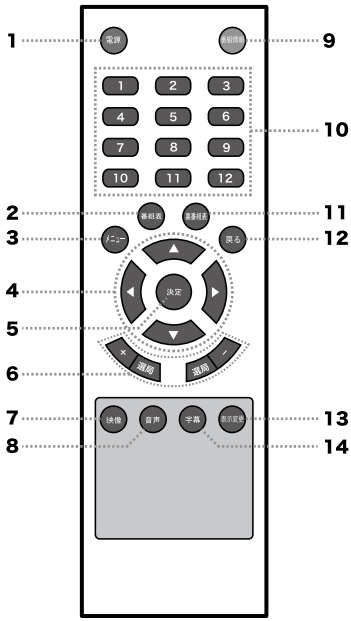


〈各部機能の紹介〉

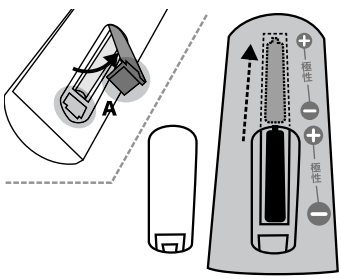
No.	名称	機能
1	電源ボタン	電源のオン／オフを切り替えます。
2	MENU（メニュー）ボタン	メニュー画面の表示／非表示を切り替えます。
3	左右方向ボタン	メニュー画面内で左右方向の項目の選択や、移動に使います。
4	リモコン受光部	リモコン操作はこちらを向けて行ないます。
5	上下方向ボタン	メニュー画面内で上下方向の項目の選択や、移動に使います。
6	OK（決定）ボタン	メニュー画面内での項目の決定時に使います。
7	電源ランプ	上のランプだけが点灯しているとき：スタンバイ状態 上下ランプが両方共点灯しているとき：電源オンの状態
8	B–CAS カード挿入口	B-CAS カードを挿入します。カードが挿入されていないと、デジタル放送を受信できません。
9	地上デジタルアンテナ入力	アンテナを接続します。
10	D3 映像出力	テレビに接続し、D3 映像出力を行ないます。 ※接続には、別途 "D3 映像ケーブル " が必要です。また、D3 映像以外（D1 や D2）のものは出力できません。接続テレビが D3 映像に対応している場合に限り、映像出力が可能です。
11	コンポジット映像出力	テレビに接続し、コンポジット映像出力を行ないます。 ※製品付属の "AV ケーブル " で接続が可能。
12	2ch 音声出力	テレビに接続し、2ch 音声出力を行ないます。 ※製品付属の "AV ケーブル " で接続が可能。
13	S 映像出力	テレビに接続し、S 映像出力を行ないます。 ※接続には、別途 "S 映像ケーブル " が必要。
14	光デジタル音声出力	サラウンドシステムに接続し、5.1ch 音声出力を行ないます。 ※接続には、別途 " 光デジタル音声ケーブル " が必要。
15	電源ケーブル	家庭用コンセントに接続します。

ここでは各部の名称、および簡単に機能の紹介をしました。具体的な使用法、詳細については各接続、および使用方法の紹介ページをご覧ください。

リモコン／各部名称と機能



〈リモコン電池の取付け〉



①リモコン背面の電池ボックスのフタを外します。図中のＡ部分を指で押しながら、矢印の方向に引き上げるとフタが外れます。

②使用する電池は、単四乾電池２本です。極性を確認し１本セットしたら、奥に押し込み（図中の点線の矢印方向）残りの１本をセットしてください。

※製品付属のリモコン用電池は、動作確認用です。通常ご使用分は、別途ご用意ください。また、長期間使用しない場合は、リモコン電池を取り外して保管してください。

〈各部機能の紹介〉

No.	名称	機能
1	電源	電源のオン／オフを切り替えます。
2	番組表	現在視聴中の放送局の番組表を表示します。
3	メニュー	メニュー画面の表示／非表示を切り替えます。
4	上下左右方向	メニュー画面内で項目の選択、移動に使います。
5	決定	メニュー画面内で、項目の決定に使います。
6	選局 + ／ -	チャンネルを切り替えます。＋：昇順／–：降順
7	映像	マルチ映像に対応した番組を視聴中に、ボタンを押す毎に映像アングルを切り替えます。
8	音声	マルチ音声に対応した番組を視聴中に、ボタンを押す毎に音声出力を切り替えます（日本語、英語など）。
9	番組情報	現在の時刻や、視聴中の番組の情報を表示します。
10	数字	チャンネル番号を指定します。
11	裏番組表	現在、他のチャンネルで放送されている番組の一覧が表示されます。
12	戻る	メニュー画面内で、前の項目に戻ります。
13	表示変更	出力される映像の比率を変更します。 4：3PS、4：3LB、ワイドから選択できます。
14	字幕	字幕放送に対応した番組を視聴中に、ボタンを押す毎に字幕の有無、及び字幕言語を切り替えます。

…各種操作の詳細については、P18 〜の< Chapter.3　テレビを見る・各種設定>に記載してあります。

2 アンテナ・テレビ・電源の接続とB-CASカード

本章では、本製品で地上デジタル放送を受信するための以下の接続をご紹介します。機器の不具合や故障にもつながるので、④の電源コンセントへの接続は、すべての接続が終えた後に行なってください。

①アンテナの接続‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥P13

②テレビ(スピーカー)の接続‥‥P14

③ B-CAS カード　‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥P16

④電源の接続‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥P16

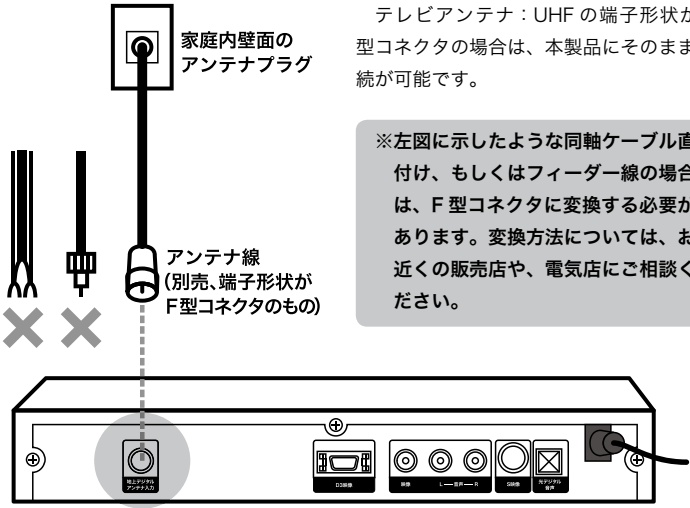
※アンテナの接続やテレビとの接続に関しての紹介では、何通りかの方法を記載してあります。ご使用のアンテナ環境やテレビの仕様に合わせて、いずれかの方法で接続してください。

①アンテナの接続

※アンテナ接続の前に…
P6 に記載の " デジタル放送を受信するには " に地上デジタル放送をご覧頂くための、受信条件が紹介してあります。内容をご確認の上、本章の接続を行なってください。

ご使用の環境に合わせて、次のページに記載してあるいずれかの方法でアンテナを接続してください。

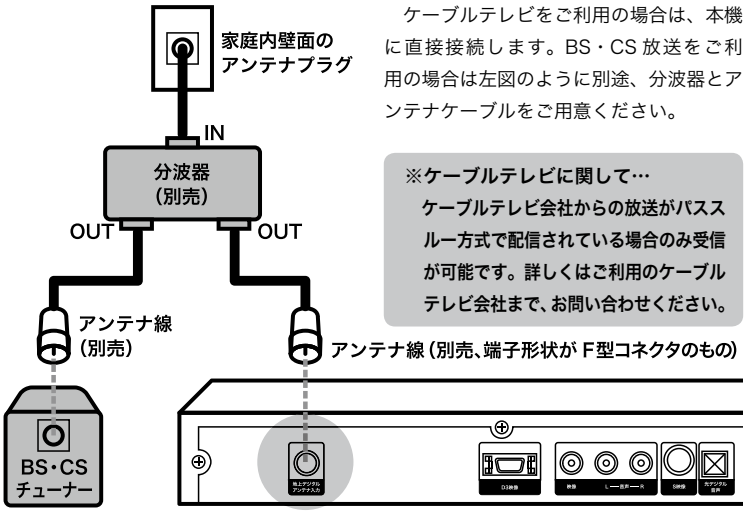
〈UHF の場合〉



テレビアンテナ：UHF の端子形状が F 型コネクタの場合は、本製品にそのまま接続が可能です。

※左図に示したような同軸ケーブル直付け、もしくはフィーダー線の場合は、F 型コネクタに変換する必要があります。変換方法については、お近くの販売店や、電気店にご相談ください。

〈UHF・VHF・BS・CS 混合／ケーブルの場合〉

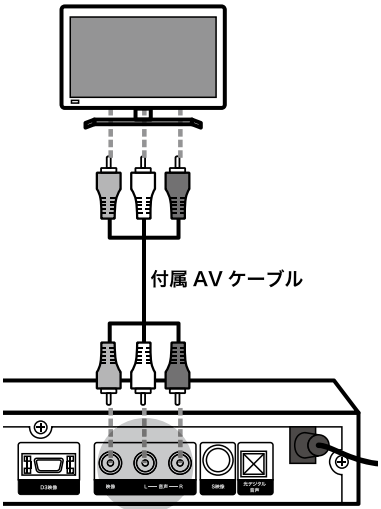


ケーブルテレビをご利用の場合は、本機に直接接続します。BS・CS 放送をご利用の場合は左図のように別途、分波器とアンテナケーブルをご用意ください。

※ケーブルテレビに関して…
ケーブルテレビ会社からの放送がパススルー方式で配信されている場合のみ受信が可能です。詳しくはご利用のケーブルテレビ会社まで、お問い合わせください。

②テレビ(スピーカー)の接続

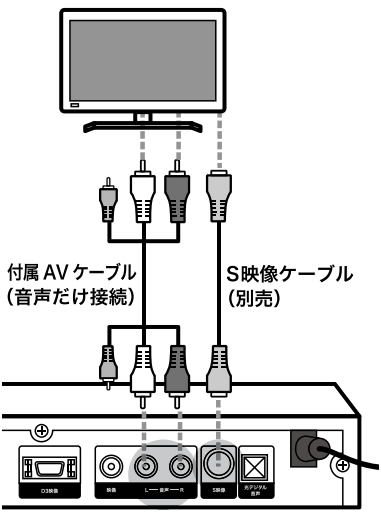
お使いのテレビの仕様に合わせて、いずれかの方法で接続してください。



〈付属のAVケーブルを使った接続〉

製品付属の AV ケーブルを使い、チューナー本体背面の「映像・音声出力」と、テレビの対応する入力端子を接続します。

※ここで紹介する方法は、付属品だけで接続することが可能です。
※赤・白色の端子は 2ch 音声、黄色の端子はコンポジット映像を出力します。



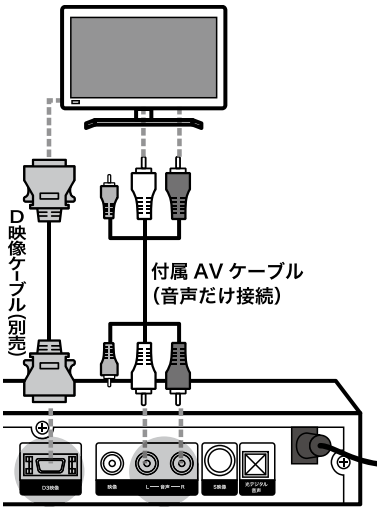
〈S 映像ケーブルを使った接続〉

S 映像出力は映像信号を 2 つに分けて伝送するため、コンポジット映像出力に比べて奇麗な映像をご覧頂けます。

AV ケーブルと S 映像ケーブルを使い、チューナー本体背面の「音声出力」「S 映像出力」と、テレビの対応する入力端子を接続します。

※接続には、別途「S 映像ケーブル」が必要です。また、テレビに S 映像入力端子が備わっている場合に限り、接続が可能です。
※左図は AV ケーブルの赤・白色の端子だけを接続し、2ch 音声出力を行なった場合について紹介しています。

〈D映像ケーブルを使った接続〉

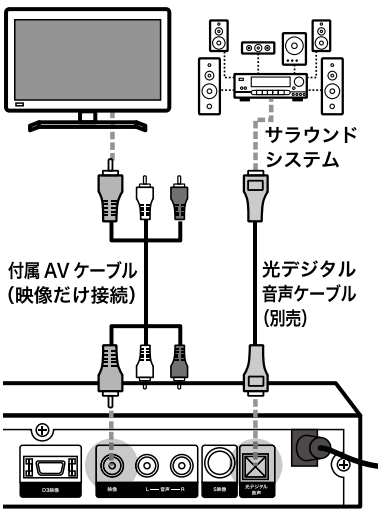


D 映像出力は映像信号を 3 つに分けて伝送するため、コンポジット及び S 映像出力に比べて優れた画質でご覧頂けます。

AVケーブルとD映像ケーブルを使い、チューナー本体背面の「音声出力」「D3 映像出力」と、テレビの対応する入力端子を接続します。

※本製品は D3 映像出力にのみ対応しています。D1-2 映像出力は行なえません。
※接続には、別途「D 映像ケーブル」が必要です。また、テレビに D3 映像入力端子が備わっている場合に限り、接続が可能です。
※左図は AV ケーブルの赤・白色の端子だけを接続し、2ch 音声出力を行なった場合について紹介しています。

〈光デジタル音声ケーブルを使った接続〉



ドルビーデジタル対応の 5.1ch サラウンドシステムへの、接続が可能です。

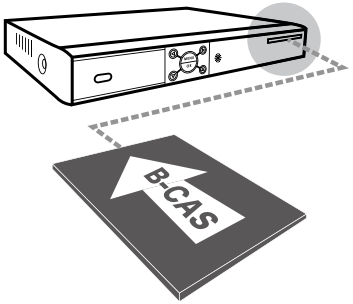
AV ケーブルと光デジタル音声ケーブルを使い、チューナー本体背面の「映像出力」「光デジタル音声出力」と、テレビ及びサラウンドシステムの対応する入力端子を接続します。

※接続には、別途「光デジタル音声ケーブル」が必要です。
※左図は AV ケーブルの黄色の端子だけを接続し、コンポジット映像出力を行なった場合について紹介しています。

③ B-CAS カード

B-CAS カードが本製品のチューナー本体に挿入されていないと、地上デジタル放送をご覧頂けません。

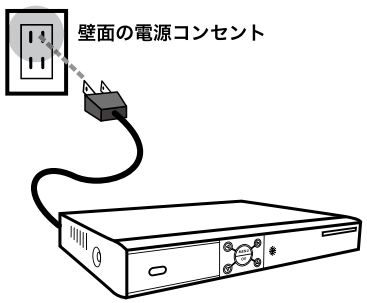
チューナー本体の前面にある「B-CAS カード挿入口」に、B-CAS と表示されている方を上にしてカードを差し込んでください。



※ B-CAS カードについては、P7 の "B-CAS カード " でもご紹介しています。本項目と合わせてご確認ください。
※ B-CAS カードは対応する機器によってカードの種類が異なるので、必ず本製品に付属のものを使用してください。
※ B-CAS カードの脱着は、必ず本製品の電源プラグをコンセントから外した状態で行なってください。

④電源の接続

本章でご紹介した①〜③の機器接続が完了したら、電源コネクタをコンセントに接続してください。



※長期間使用しない場合は、電源コネクタをコンセントから抜いて保管してください。

3 テレビを見る 各種設定

本章では、本製品で地上デジタル放送を視聴するための準備と、視聴時の操作、必要に応じて行なう各種設定についてご紹介します。

本製品をはじめてお使い頂くときはチャンネルスキャンを行ない、お住まいの地域で受信できる放送局を登録する必要があります。

※チャンネルスキャンを行なわないと、テレビの視聴はできません。お使い頂く前には必ず、本章の手順に従ってチャンネルスキャンを行なってください。

①チャンネルの設定…… P20

…テレビ視聴のための、チャンネルスキャンを行ないます。

②テレビを見る…… P22

テレビ視聴時の、一般的な操作をご紹介します。

③各種設定…… P26

メニューボタンを押し表示される「メニュー画面」上での各種設定についてご紹介します。リモコン数字ボタンへのチャンネル割り当てや、放送受信レベルの確認、初期化など必要に応じて設定を行なってください。

チャンネル設定の前に…

本章でご紹介する操作は、便宜上リモコンボタンの内容に沿ってご紹介します（内容によっては、チューナー本体のボタンでも操作が可能です）。

事前に、リモコンに電池をセットしてください（→ P10 参照）。

〈電源を入れる〉

前章でご紹介した全ての接続が完了後、次の手順で接続テレビ及びチューナー本体の電源を入れてください。

1.接続テレビの電源を入れる

接続テレビは電源を入れた後、入力切替を行なってください。

（入力切替の方法は、接続テレビの取扱説明書をご確認ください）

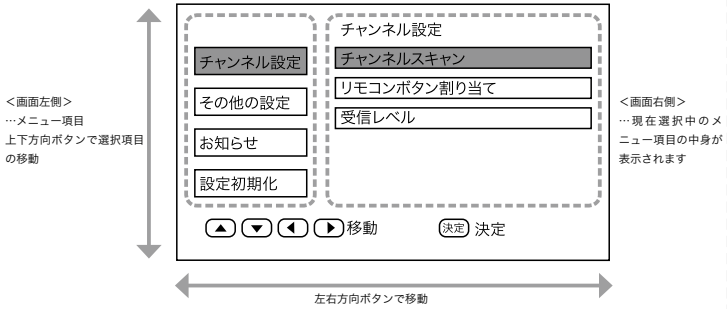
2.チューナー本体の電源を入れる

チューナー本体の電源ボタンを押し、電源をオンにすると下図のメニュー画面が表示されます。　※表示されてい場合は、メニューボタンを押すと現れます。

〈メニュー画面内での操作〉

下図はメニューボタンを押すと表示される、メニュー画面です。

画面左側に表示されるメニュー項目から、操作したい項目を選択すると、項目の中身が画面右側に表示されます。



メニュー画面の項目詳細については、後の「各種設定」のページでご紹介します。

チャンネルの設定時には、以下のボタンを使用します。

●メニューボタン：ボタンを押すごとに、メニュー画面の表示／非表示を切り替えます。

●方向ボタン　：メニュー画面内で項目の選択や移動に使用します。選択された項目は、オレンジ色で表示されます（上図のグレーに塗られた部分）。

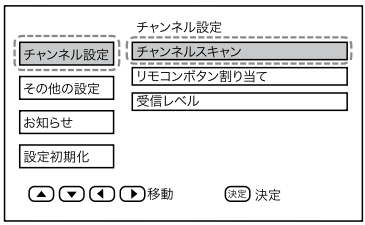
●決定ボタン　：方向ボタンで選択した内容を確定します。

①チャンネルの設定

本製品をはじめてお使い頂くときはチャンネルスキャンを行ない、お住まいの地域で受信できる放送局を登録する必要があります。

以下の手順で、チャンネルスキャンを行なってください。

〈手順 1〉～チャンネルスキャン画面の表示

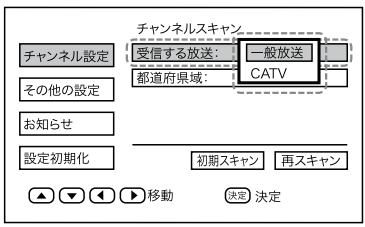


メニューボタンを押し、メニュー画面を表示します。

画面左に表示される項目中、一番上の「チャンネル設定」内の「チャンネルスキャン」を選択し、決定ボタンを押します。

手順 2 の「チャンネルスキャン画面」が表示されます。

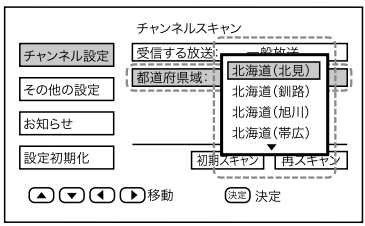
〈手順 2〉～受信する放送を選ぶ



「チャンネルスキャン画面」が表示されたら「受信する放送」を選択し、決定ボタンを押します。一般放送もしくは CATV を選択し、決定ボタンを押し確定します。

※ケーブルテレビをご利用の場合は CATV を、それ以外の場合は一般放送を選択してください。

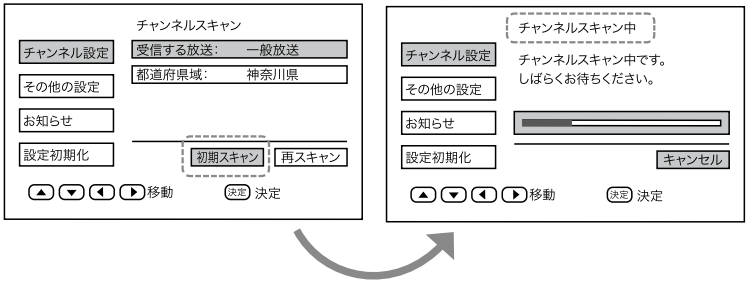
〈手順 3〉～地域を設定する



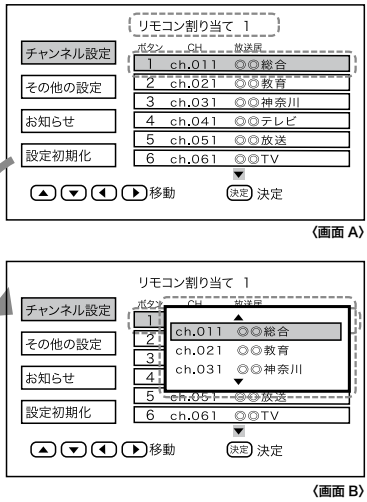
「都道府県域」を選択し、決定ボタンを押します。地域一覧から、お住まいの地域を選択し、決定ボタンを押し確定します。

〈手順 4〉～チャンネルスキャンを開始する

「初期スキャン」を選択し、決定ボタンを押すとチャンネルスキャンが開始します。「チャンネルスキャン中」と画面に表示されます。終了までしばらくお待ちください。



〈手順 5〉～数字ボタンの、放送局割り当てを変更する



〈画面 A〉

〈画面 B〉

リモコンの数字ボタン（1 ～ 12）にお好みの放送局を割り当てます。

任意の機能ですので、そのままでよければメニューボタンを押し、メニュー画面を閉じます。

数字ボタンへの放送局の割り当ては、以下の手順で行なってください。

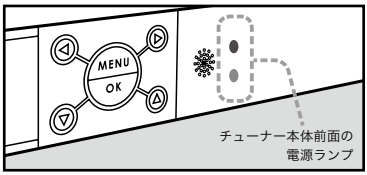
1.割り当てを変更したいチャンネルを選択し、決定ボタンを押します（画面 A）。
2.変更するチャンネルを選択し、決定ボタンを押します（画面 B）。
3.割り当てが終了したらメニューボタンを押し、メニュー画面を閉じます。

②テレビを見る

ここでは、テレビ視聴時の基本的な操作についてご紹介します。
本項目は、①のチャンネルの設定が終えた後にご覧ください。

〈電源のオン／オフ〉

電源ボタンでオン／オフを切り替えます。
チューナー本体前面にある電源ランプが、電源のオン／オフを表示します。



●ランプが上下２つ共、点灯しているとき
…電源オン

●ランプが上１つ点灯しているとき
…電源オフ（スタンバイ状態）

●無点灯
…コンセントを接続していない、もしくは通電していない状態

※チューナー本体の電源と接続テレビの電源は、連動していません。視聴を終えるときは、チューナー本体の電源及び接続テレビの電源もオフにしてください。

〈チャンネルを切り替える〉

チャンネルの切り替えには、以下の２通りの方法があります。

●選局ボタンによる切り替え
…選局＋／–ボタンで、チャンネルを切り替えます（＋：昇順／–：降順）。

※全国ネット系列に属さない放送局は、その放送局のチャンネル番号にかかわらず、昇順の一番最後に表示される場合もあります。

●数字ボタンによる切り替え
…数字ボタンでチャンネル番号を指定し、切り替えます。

※数字ボタンへの放送局の割り当ては、変更することができます。変更方法は P26 〜の③各種設定をご覧ください。

〈番組情報を表示する〉

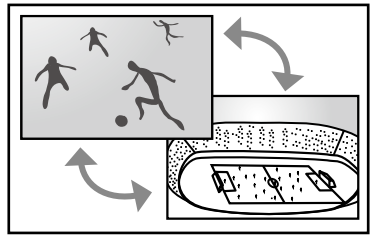
番組情報ボタンを押すと、現在視聴中の番組情報等が表示されます。番組情報ボタンを押す毎に、表示／非表示が切り替わります。

●画面表示内容 … [現在の時刻／番組名／放送時間／放送局名]

〈映像を切り替える〉

マルチ映像に対応した複数の映像が含まれている番組は、別の映像に切り替えることができます。例えばサッカー中継等で複数のアングルからの映像表示が可能になります。

映像ボタンを押す毎に、別の映像に切り替わります。

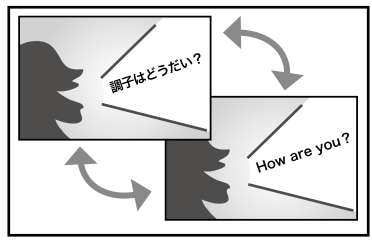


※マルチ映像に対応していない番組の受信中に、映像ボタンを押すと「切り替えられる映像がありません」というメッセージが表示されます。

〈音声を切り替える〉

マルチ音声に対応した、複数の音声が含まれている番組は、別の音声に切り替えることができます。例えば日本語、英語等の音声言語の切り替えが可能になります。

音声ボタンを押す毎に、別の音声に切り替わります。

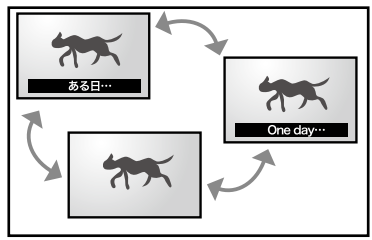


※マルチ音声に対応していない番組の受信中に、音声ボタンを押すと「切り替えられる音声がありません」というメッセージが表示されます。

〈字幕を切り替える〉

字幕放送に対応した番組は、字幕の表示の有無を切り替えることができます。映画・ドラマの台詞や、複数の言語に対応したもの等、番組によって内容は異なります。

字幕ボタンを押す毎に字幕の有無、及び種類が切り替わります。



※字幕放送に対応していない番組の受信中に、字幕ボタンを押すと「切り替えられる字幕がありません」というメッセージが表示されます。

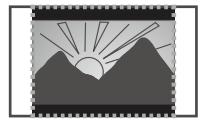
〈画面比率を切り替える〉

デジタル放送の画面比率（16：9）をお使いのテレビの比率に応じて、効果的に表示できるように調整することができます。リモコンの表示変更ボタンで、画面比率を変更できます（下図補足：図中の点線の範囲 ⬚ が、4：3 比率のテレビ画面の表示枠です）。

…元の 16：9 のワイド画面

●パン&スキャン　4：3PS
画面の左右を断ち切り、4：3 のテレビに合わせて表示します。

●ワイド　16：9
画面全体を表示します。ワイド画面のテレビをお使いの場合はこれを選択してください。



●レターボックス　4：3LB
全体を縮小し 4：3 のテレビに合わせて表示します。そのとき上下に黒い帯が現れます。

〈EPG ～電子番組表とは？〉

デジタル放送では、放送波に番組表のデータが含まれています。このデータを元に作成された番組表を画面上に表示することができます。

〈番組表の取得〉

番組表は放送波を通じ、自動的に本製品にダウンロード（読み込み）されます。
ダウンロード方法には、以下の 2 種類があります。

●定時ダウンロード
…本製品は 1 日に 2 回、受信可能な全ての放送局の番組表を読み込みます。

●視聴時の自動取得
…テレビ視聴時、同一チャンネルに一定時間合わせていると、その放送局の番組表を取得します。

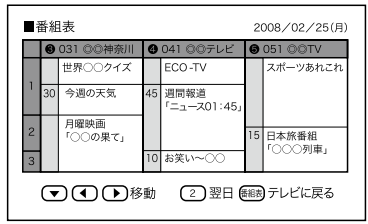
※視聴時の自動取得では、チャンネルを合わせていた放送局の番組表だけがダウンロードされます。

〈番組表の表示〉

電子番組表には、番組表と裏番組表の２種類があります。

●番組表

…現在の時刻以降の番組表が表示され、当日から７日先までの番組表を見ることができます。番組表ボタンを押す毎に、表示／非表示が切り替わります。



[別の放送局の番組表を見る]

…左右方向ボタンで番組表をスクロールすることで、別の放送局の番組表が表示されます。

[別の時間帯の番組表を見る]

…上下方向ボタンで番組表をスクロールすることで、別の時間帯の番組表が表示されます。

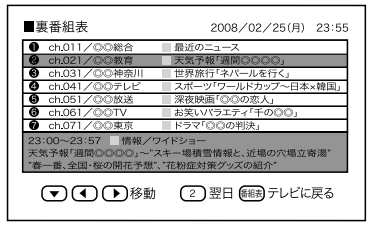
[別の日付の番組表を見る]

…番組表画面の下部に案内が表示されています。数字ボタンの２を押すと、翌日の番組表が表示されます。数字ボタンの１を押すと、前日の番組表が表示されます

●裏番組表

…現在、他のチャンネルで放送されている番組の一覧が表示されます。

裏番組表ボタンを押す毎に、表示／非表示が切り替わります。また、裏番組表内の操作でチャンネルを切り替えることができます。



[チャンネルを切り替える]

…上下方向ボタンで見たい番組を選択し、決定ボタンを押すとチャンネルが切り替わります。

※ジャンルアイコン

…裏番組表に表示されるジャンルアイコンは、それぞれの番組内容を指し示します。種類は、以下の通りです。

ジャンル	アイコン
ニュース／報道	
情報／ワイドショー	
スポーツ	
ドラマ	
バラエティ	

ジャンル	アイコン
音　楽	
ドキュメンタリー／教養	
趣味／教育	
映　画	

ジャンル	アイコン
アニメ／特撮	
劇場／公演	
福祉	
その他	

③各種設定

メニューボタンを押し表示される「メニュー画面」上での各種設定について、ご紹介します。

〈メニュー画面の表示／設定可能な項目〉

メニューボタンを押す毎に、メニュー画面の表示／非表示が切り替わります。
メニュー画面内では、次の項目の設定が可能です。

1.チャンネル設定……P28

…チャンネルスキャン／リモコンボタンの割り当て／受信レベルの確認

2.その他設定……P32

…機器情報／文字スーパー

3.お知らせ……P34

…ソフトウェアのアップデート情報の確認

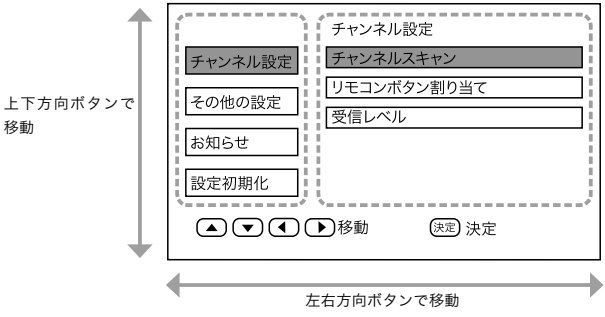
4.設定初期化……P35

…工場出荷時の設定に戻します

〈メニュー画面内での操作〉

下図はメニューボタンを押すと表示される、メニュー画面です。

画面左側に表示されるメニュー項目から、操作したい項目を選択すると、項目の中身が画面右側に表示されます。



●**メニューボタン**：ボタンを押すごとに、メニュー画面の表示／非表示を切り替えます。

●**方向ボタン**　：メニュー画面内で項目の選択や移動に使用します。選択された項目は、オレンジ色で表示されます（上図のグレーに塗られた部分）。

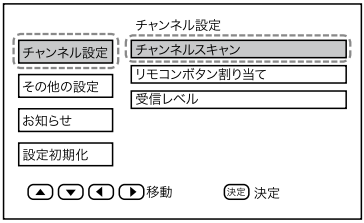
●**決定ボタン**　：方向ボタンで選択した内容を確定します。

1.チャンネル設定

〈チャンネルスキャン〉

チャンネルスキャンをすることで、受信する放送局を本製品に登録します。テレビをはじめてお使いになるとき以外にも、引っ越し等で受信する地域が変わったときや、新しい放送局が開設された場合には設定が必要になります。

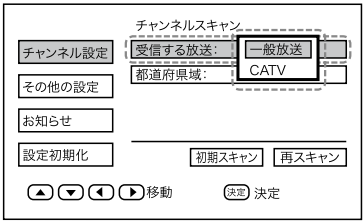
〈手順 1〉～チャンネルスキャン画面の表示



画面左に表示されるメニュー項目中、一番上の「チャンネル設定」内の「チャンネルスキャン」を選択し、決定ボタンを押します。

手順２の「チャンネルスキャン画面」が表示されます。

〈手順 2〉～受信する放送を選ぶ



「チャンネルスキャン画面」が表示されたら「受信する放送」を選択し、決定ボタンを押します。

ケーブルテレビをご利用の場合は「CATV」を、それ以外の場合は「一般放送」を選択してください。どちらか一方を選択し、決定ボタンを押し確定します。

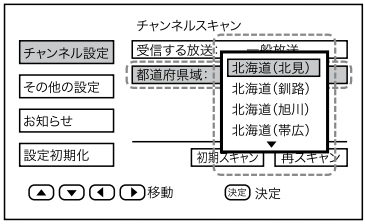
※ケーブルテレビをご利用の場合の注意

ケーブルテレビ会社から放送の配信方式は、トランスモジュレーション方式とパススルー方式の２通りがあります。

トランスモジュレーション方式は、ケーブルテレビ会社が放送局から受け取ったデジタル放送を一度変換してから再配信したもので、パススルー方式は変更を加えずに、そのまま配信されたものです。

配信方式がパススルー方式であれば、本製品の使用が可能です。配信方式に関しては、ご契約のケーブルテレビ会社にお問い合わせください。

〈手順 3〉～地域を設定する



「都道府県域」を選択し、決定ボタンを押します。地域一覧から、お住まいの地域を選択し、決定ボタンを押し確定します。

※この設定は受信した放送局のチャンネル番号を、お住まいの地域で使われている番号に自動的に割り当てるためのものです。お住まいの地域以外を選択した場合のチャンネルスキャンの結果は、実際にその地域で受信できる放送局だけになります。また、ここで自動的に割り当てられたチャンネル番号は、後にご紹介する「リモコンボタンの割り当て」で変更することができます。

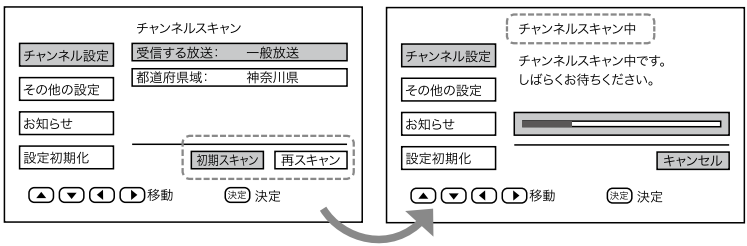
〈手順 4〉～チャンネルスキャンを開始する

チャンネルスキャンの方法を選択します。

どちらか一方を選択し、決定ボタンを押すとチャンネルスキャンが開始し「チャンネルスキャン中」と画面に表示されます。終了までしばらくお待ちください。

●初期スキャン…本チューナーをはじめて使用するとき、引っ越し等で受信地域が変更したとき、設定の初期化を行なった後等。

●再スキャン　…お住まいの地域で、新しい放送局が開設されたとき。



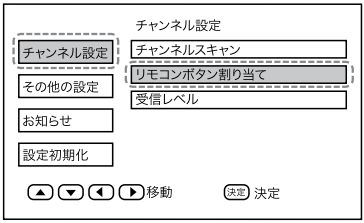
※チャンネルが登録されないときは

チャンネルスキャンを行なってチャンネルが読み込まれない場合は、各機器の接続を確認してください。また、悪天候等により一時的に読み込まれない場合もあります。

〈リモコンボタンの割り当て〉

リモコンの数字ボタン（1 ～ 12）にお好みの放送局を割り当てます。

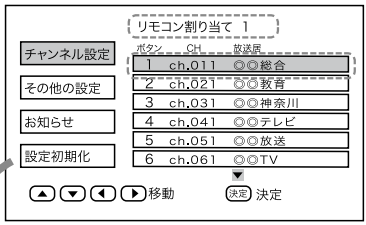
〈手順 1〉～リモコンボタン割り当て画面の表示



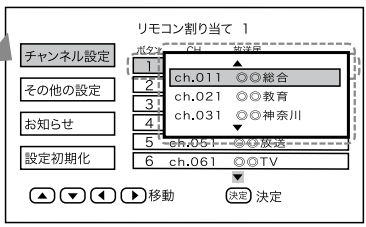
画面左に表示されるメニュー項目中、一番上の「チャンネル設定」内の「リモコンボタン割り当て」を選択し、決定ボタンを押します。

手順 2 の「リモコンボタン割り当て」画面が表示されます（画面 A）。

〈手順 2〉～リモコンボタン割り当ての変更



〈画面 A〉



〈画面 B〉

1.割り当てを変更したいチャンネルを選択し、決定ボタンを押すと（画面 B）が表示されます。
2.変更するチャンネルを選択し、決定ボタンを押します。
3.割り当てが終了したらメニューボタンを押すと、メニュー画面が閉じます。

※同じ放送局が、複数あるときは…

デジタル放送では 1 つの放送局が複数のチャンネルを持つことが可能で、同時に複数の番組を放送することができます。このため、放送局によっては別々の番組を放送している場合があります。

〈受信レベルの確認〉

現在画面に表示している放送局の、受信レベルを確認することができます。

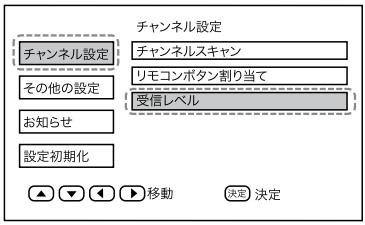
テレビの視聴中、特定のチャンネルで映像や音声が途切れる等の不具合を感じるときは、各機器間の接続と併せて、受信レベルを確認してください。

また、受信レベルは、天候やアンテナの向き等によっても変化します。

〈手順 1〉～受信レベルを確認する放送局の選択

チャンネルを切り替え、不具合を感じる放送局を画面に表示させます。

〈手順 2〉～受信レベル確認画面の表示

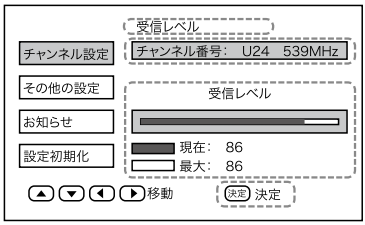


メニューボタンを押し、メニュー画面を表示させます。

画面左に表示されるメニュー項目中、一番上の「チャンネル設定」内の「受信レベル」を選択し、決定ボタンを押します。

手順 3 の「受信レベル」確認画面が表示されます。

〈手順 3〉～受信レベルの確認



受信レベルを確認します。

●**チャンネル番号**…現在受信中の放送局

●**受信レベル**　…現在／最大時の受信レベルを表示しています

正常に受信できる目安となる受信レベルは 60 以上です。

「受信レベル」確認画面を表示中に、決定ボタンを押すと、別のチャンネルの受信レベルを確認することができます。

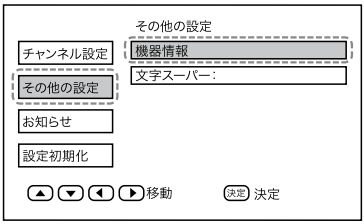
※映りが悪いときは…デジタル放送は受信状態が悪くなると、画面がモザイク状になるブロックノイズが生じたり、映像が滑らかに表示されない場合があります。受信レベルを確認し、受信状態が悪いときは、各機器間の接続状態の見直しや、設置アンテナの調整が必要になります。アンテナの調整は自分で行なわず、必ずお買い上げ頂いた販売店や電気店にご相談ください。

2. その他設定

〈機器情報〉

機器情報画面では、挿入している B-CAS カードの情報や、本製品のソフトウェアアップデートの情報を確認することができます。

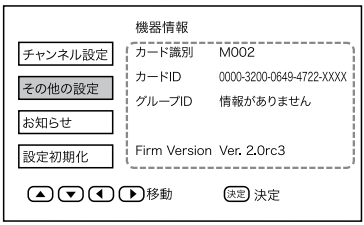
〈手順 1〉～機器情報画面を表示する



画面左に表示されるメニュー項目中、上から二番目「その他の設定」内の「機器情報」を選択し、決定ボタンを押します。

手順 2 の「機器情報」画面が表示されます。

〈手順 2〉～機器情報の確認



「機器情報」画面では、次のことがご確認頂けます。

●カード識別
…B-CAS カードの属性を表示します。

●カード ID
…B-CAS カードの裏面に記載されているカード番号を表示します。

●グループ ID
…複数の B-CAS カードで同一の契約をする場合の、共通番号を表示します。

● Film Version
…本製品の内蔵ソフトウェアのバージョンを表示します。

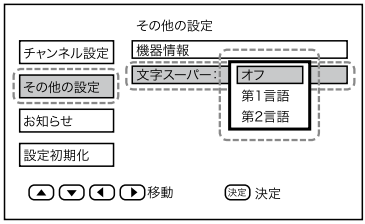
※本製品の内蔵ソウトウェアアップデート

デジタル放送波を通じて、本製品に内蔵されているソフトウェアを自動的に修理、もしくは機能の追加（アップデート）をすることができます。

アップデート前に、ここでご紹介している内蔵ソフトウェアのバージョン情報をご確認ください。アップデートの必要の有無については、メニュー項目の「お知らせ」で確認ができます。

〈文字スーパー〉

テレビ放送画面への文字スーパーの表示の有無や、表示する言語の設定をします。



画面左に表示されるメニュー項目中、上から二番目「その他の設定」内の「文字スーパー」を選択し、決定ボタンを押します。

左のポップアップ画面が表示されます。

ポップアップ画面から文字スーパーの表示内容を選択し、決定ボタンで確定します。

●オフ …表示なし

●第１・第２言語 …放送局や、番組毎に登録されている言語を表示します。

※文字スーパーと、字幕は別のものです。

文字スーパーは、地震や災害などの緊急時のニュースや速報として用いられることが多いため、常に画面に表示されるものではありません。

これに対し、字幕は映画やドラマのセリフ部分、映像に関する解説や説明等に用いられるものを差し、字幕サービスの配信の有無は放送局や番組により異なります。字幕の配信が行なわれている番組の視聴中は、リモコンの字幕ボタンを押す毎に、表示の有無を切り替えることができます。

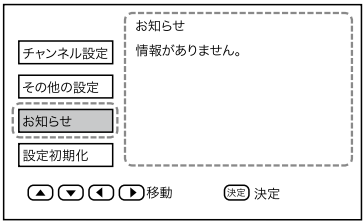
3. お知らせ

ES（エンジニアリングサービス）と呼ばれる機能についてご紹介します。デジタル放送波を通じて本製品内蔵のソフトウェアの修正や、機能の追加（アップデート）を行なうことができます。

お知らせ画面上にメッセージが表示されていれば、内容をご確認頂き、画面案内に従って操作を行なってください。

※更新は、コンセントに接続した状態でないと行なわれません。

〈手順 1〉～お知らせ画面の表示



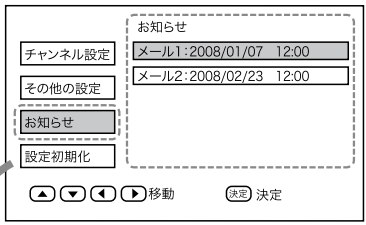
〈画面 A〉

画面左に表示されるメニュー項目中、上から三番目「お知らせ」を選択すると、お知らせ画面が表示されます。

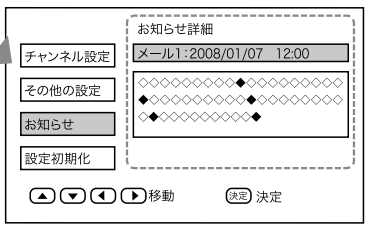
左の（画面 A）は更新情報が何も無いときの表示、（画面 B）は更新情報が存在するときの表示です。

更新情報があるときは〈手順 2〉を参照し、操作を行なってください。

〈手順 2〉～更新情報があるときは…



〈画面 B〉



〈画面 C〉

更新情報が存在するときは、お知らせ画面上にメッセージが表示されます（画面 B のメール 1、メール 2 等）。メッセージの日付は、受信した日時を差しています。

メッセージを選択し、決定ボタンを押してください。

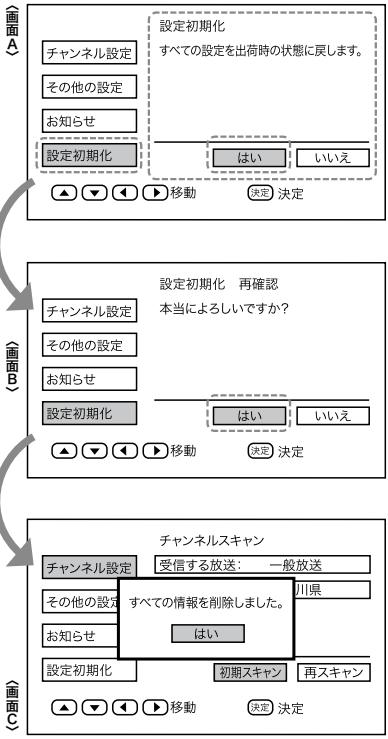
「お知らせ詳細」画面が表示されます（画面 C）。内容を確認し、画面案内に従って操作を行なってください。

※アップデートの前には必ず、本製品のソフトウェアのバージョンをご確認ください。ソフトウェアのバージョン確認は、メニュー画面の「お知らせ」内、「機器情報」で確認してください。

4. 設定初期化

設定初期化を実行すると、これまでに変更した設定値（登録していたチャンネル情報や、映像・音声の設定等）が、すべて工場出荷時の状態に戻ります。

〈手順 1〉～設定初期化画面の表示と、初期化の実行



※初期化の実行は、上でご紹介した通りすべての設定が工場出荷時の設定に戻ります。
誤って設定を消去してしまわないように、2 段階の確認画面をご用意しています。

[初期化実行の確認～ 1]

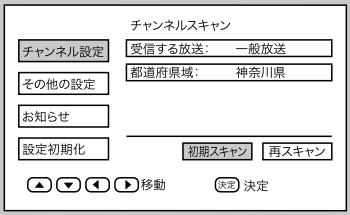
画面左に表示されるメニュー項目中、一番下の「設定初期化」を選択すると、設定初期化画面が表示されます（画面 A）。

「すべての設定を出荷時の状態に戻しますか？」と案内メッセージが表示されます。

ここで画面下部に表示される「はい」を選択し、決定ボタンを押すと「設定初期化／再確認」画面が表示されます（画面 B）。

[初期化実行の確認～ 2]

設定初期化／再確認画面内で「本当によろしいですか？」と案内メッセージが表示されます。ここで「はい」を選択し、決定ボタンを押すと、設定の初期化が実行されます。初期化が完了すると（画面 C）が表示されます。



※初期化の後は…

初期化を実行すると、お買い上げ頂いたときの状態に戻ります。

テレビをご覧頂くためには、ご使用地域の設定やチャンネルスキャン等をやり直す必要があります。

4 故障かな？と思ったら

主な不具合の原因と、その解決方法

電源が入らない

●電源ランプが点灯しているかを確認してください。点灯していなければ、電源ケーブルの配線を確認してください。

電源が入っているのに操作できない

●チューナー本体の動作処理中に、何らかの原因でエラーが発生すると、そのままの状態で操作ができなくなったり、映像が表示されなくなったりする場合があります。そのときは一旦チューナー本体の電源をオフにしてから、再度電源を入れ直してください。

音声が出ない

●本製品とテレビの接続は、正しく行なわれていますか？

●本製品に、音量調節機能はありません。音量調節はテレビ側で行なってください。また、テレビ側の音量が十分に出ているか、消音状態になっていないか確認してください。

映像が乱れる、表示されない

●接続テレビの入力切替はされていますか？

●本製品、アンテナ、テレビの各機器の接続は、正しく行なわれていますか？

●本製品、及び接続したテレビの電源は入っていますか？

● B-CAS カードは正しく挿入されていますか？

●悪天候のときは受信状態が悪くなり、映像や音声が乱れる場合があります。雨風等により、アンテナの向きがずれていないか確認してください。

●テレビの視聴中もしくは待機中の、本製品が通電状態のときに B-CAS カードを着脱しないでください。データの転送エラーや、思わぬ事故につながります。

●お使いのアンテナは UHF を受信可能ですか？　VHF のみの場合は新たに UHF アンテナを増設する必要があります。集合住宅にお住まいの場合は、共同アンテナによる受信をしているケースが多いため、管理者にお問い合わせください。

本製品が正常に動作しない場合は、こちらのトラブルシューティングをお読みください。不具合の原因と、その解決方法を確認することができます。

P2 ～ 7 記載の使用上の注意～デジタル放送関連の記載、および本トラブルシューティングをお読みになっても問題が解決されない場合は、保証書の内容をご確認の上、弊社サポートセンターまでご連絡ください。

画面が縦長になっている

●デジタル放送の画面比率がお使いのテレビと異なるためです。リモコンの表示変更ボタンを押して切り替えてください。

映像・音声切替ができない

●番組自体がマルチ映像、もしくはマルチ音声のサービスを行なっていない場合は、切り替えができません。

チャンネルの切り替えが遅い

●デジタル放送は、電波を通じて受け取ったデジタル信号を音声や映像に展開するため、各動作に若干時間がかかる場合があります。また、受信状態が悪いときは、さらに時間がかかることもあります。

字幕が消えない

●字幕表示機能がオンになっています。リモコンの字幕切替ボタンを押す毎に、字幕の表示／非表示を切り替えることができます。　※番組自体が字幕サービスを配信していないときは、機能しません。

メニュー画面が消えない

●リモコンのメニューボタンを押す毎に、メニュー画面の表示／非表示が切り替わります。

文字スーパーが表示されない

●文字スーパーは、地震や災害等の速報等に用いられるます。常に表示されるものではありません。

チャンネル番号が画面から消えない

●リモコンの番組情報ボタンを押す毎に、受信チャンネル情報の表示／非表示が切り替わります。

番組表が更新されない

●番組表の更新タイミングを逃していることが考えられます。番組表はチューナー本体がスタンバイ状態のときに 1 日に 2 回更新されます。また、同一のチャンネルを一定時間視聴すると、その放送局の番組表だけが更新されます。

リモコン操作ができない

●リモコンの電池は正しく装着されていますか？　電池の極性等確認してください。

●リモコンの電池が切れていることも考えられます。使用する電池は単四型乾電池、2本です。製品付属のリモコン電池は、動作確認用で長期間の使用はできないことがあります。通常ご使用になる分は、別途ご用意ください。

●リモコンと本体との間に障害物はありませんか？

●リモコンがチューナー本体に向けられていますか？　リモコン受光部との角度や距離が開きすぎていませんか？

●電源投入およびチャンネルの切替え直後や、電波状態の悪い場所での視聴中は本体で重い処理を行っているため、反応に時間がかかることがあります。この状態で繰り返しボタンを操作すると、後で全ての操作が反映され、思わぬ動作を起こすことがあります。少し様子を見て反応がないことが確認されたら、再び同じボタンを押してください。

MEMO

製品仕様／お問い合わせ先

製品型番	DS-DT401
製品名	地上デジタルテレビ放送専用チューナー ※本製品は地上デジタル放送の受信専用機です、その他の放送の受信はできません
入力端子	地上デジタルアンテナ入力（F 型）
出力端子	AV 出力（コンポジット映像、2ch 音声）、S 映像出力、D3 映像出力 光デジタル音声出力
本体カラー	シルバー
外形寸法	260×47×220mm（横幅 x 高さ x 奥行）
重量	1.1Kg
電源	AC100V - 240V　50 - 60Hz
消費電力	15W
動作環境	温度：5 ～ 35℃
製造国	中国

本書の内容、本製品の仕様・外観等については、将来予告なしに変更する事があります。本書に記載している画面表示のイラストは、説明用のため実際のものと多少異なる場合があります。

本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不明な点や誤り等お気付きの点がございましたら、当社のカスタマーサポートセンターまでご連絡ください。本書の一部または全部を無断で複写することは禁止されています。また、個人としてご利用になるほかは、著作権法上、当社に無断でのご使用はできません。

製造元

株式会社 ゾックス

〒 231–0033　神奈川県横浜市中区長者町 3–8–13　TK 関内プラザ 304

TEL：0120–602–302

ホームページ　http://www.zox–net.com

お電話でのお問い合わせは：月～金 10 時～ 17 時

※土・日曜日、祝祭日はお休みを頂いております。

MADE IN CHINA